



地域における男女共同参画 ～これまでの活動を振りかえって・これからに向けて～

早良区男女共同参画をすすめる会 委員に訊きました

Q 男女共同参画の活動を通じて、どのようなことを周囲に伝えていきたいと思いましたか。

男女共同参画とは何かについての理解を地域に広げていきたい。互いに思いやりをもち、性別や年代によらずに協力しあう、よりよい地域社会にしていきたいものです。
(飯原校区 中原十四子)

家の中だけに居ては分からなかった男女共同参画での活動を通じ、多くの方に、自分の視野を広げ、知識を深めるためにも、まずは身近な地域活動に参加する一歩を踏み出してみてほしいと感じた。
(飯倉中央校区 三國千代子)

2年間活動して私が伝えたいのは「地域行事・講演会など、行けるときに参加してみませんか」。気づきや学び、出会いがあります。それは、みんなが幸せに生きることにつながると思います。
(脇山校区 高田昭子)

Q 様々な地域活動に男女共同参画の視点が広がっていくには、何が必要だと思いますか。

男女共同参画委員の中の、男性委員の割合を増やすことだと思う。できたら男女半々が望ましい。男女が同じ重さで男女共同参画社会を目指すには、まずそこからだと思う。
(野芥校区 日野明子)

①地域行事への積極的参加と問題提起 ②講演会・研修会では、理解を深める工夫(同じテーマを繰り返す、参加型にする等)③男性や若い世代の委員を増やし、発信力を高めること
(田隈校区 平田美紀子)

福祉や教育などの分野に限定せず細やかな気配りができる女性の意見を活かすことが、様々な世代からのニーズに応え得る地域活動になる、という意識をみんなで共有することが必要だと思います。
(百道校区 江口智之)

Q 新しくやってみたいと思う活動や、男女共同参画と関連して扱ってみたいテーマは何ですか。

校区防災訓練に関わっていきたいと思う。男女協は防災・減災を学習し、いざという時の対応能力を身につけられるよう、このテーマについて男女協目線で研修・活動していきたい。
(大原校区 安藤洋子)

新年度のテーマを「防災に取り組む」としました。自治協議会・地域諸団体と協力して行う予定です。5月には朝倉の災害現場へのバス研修。参画ウイークには中嶋玲子氏の災害体験談を伺う予定です。
(飯倉校区 細川勝子)

男の料理教室。家事をしたことのない男性が急に一人暮らしとなった場合、一番困るのは食事だといいます。簡単につくるコツから野菜作りなど、楽しく生活力を身につけられる講座をしたいです。
(賀茂校区 金澤忍)

Q これまでの活動を振りかえって、次に引き継いでいきたいと思うことは何ですか。

男女共同参画とは何ぞや?に始まり、LGBTを取り巻く問題で多様な性を学びました。社会に一石を投じながら新しい視点を伝える役割を担う団体であると感じます。楽しんで活動してください。
(百道浜校区 田中洋子)

公民館、校区自治協議会、各団体との協力体制を継続していきたいと思っています。地域社会の一員として貢献、活動していくことが、男女共同参画をすすめる上での要だと思います。
(早良校区 熊本桂子)

男女共同参画の理念に基づいた活動や行動は、全ての人権尊重に繋がっています。これをみんなで共通理解するために、研修会等への参加推進が必要です。若い世代への発信の必要性も感じています。
(内野・曲渕校区 早崎万吏子)

平成 29 年度委員紹介

| | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 百道浜 田 中 洋 子 | 飯倉中央 三 國 千代子 | 田 村 緒 方 豊 子 |
| 西 新 曲 手 よみよ | 飯 原 中 原 十四子 | 野 芥 日 野 明 子 |
| 百 道 江 口 智 之 | 原 西 岡 部 敏 美 | 四 篠 田 下 郡 春 海 |
| 高 取 一 坊 寺 優 子 | 飯 倉 細 川 勝 子 | 入 部 上 村 義 行 |
| 室 見 江 藤 みどり | 有 田 松 本 早 苗 | 脇 山 高 田 昭 子 |
| 原 松 永 真 喜 子 | 有 住 中 西 久 美 子 | 内 野 曲 渕 早 崎 万 吏 子 |
| 大 原 安 藤 洋 子 | 賀 茂 金 澤 忍 | 早 良 熊 本 桂 子 |
| 小 田 部 前 村 久 美 | 田 嶽 平 田 美 紀 子 | |



【発行】早良区地域支援課・早良区男女共同参画をすすめる会

〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1番1号 電話 092-833-4403 平成 30 年 3 月発行

かたらい

第42号
平成30年
3月



平成30年
2月24日
(早良市民
センター)

早良区男女共同参画講演会

福永宅司さん一人芝居「涙と笑い男女共同参画物語」

早良区男女共同参画をすすめる会 活動紹介

委員による男女共同参画○×クイズと寸劇「その時、誰もが安心できるために」

今年度の講演会は、男女共同参画をテーマとした福永宅司先生書き下ろしの一人芝居です。物語は、男女共同参画推進の担当となった女性が、福山神(神様)の4つの話を聞きながら男女共同参画を学んで行くというものでした。以下、少しだけご紹介します。

まず「教育」。出席簿は男女別から混合名簿へ。技術・家庭科は男女一緒に学び、スポーツの世界でも様々な種目が性別に関係なく行われていますが、セクシャル・マイノリティへの理解はまだもう1歩。次に「家族」。互いの立場を考え、「相手を思う」事が大切。男も女も大変なんです。そして「社会」、男女平等が進まない背景に、固定的役割分担意識がすりこまれていませんか。一人ひとりが幸せを感じられる社会になるように。最後に「地域」。地域活動に皆が参画し、性別に関わらずいろいろな人がリーダーになることが必要です。

イス一つの一人芝居。何もない舞台から映像が見えてくるようで、ユーモアにあふれ、パワーあふれるお話に共感と感動の連続でした。私たち一人ひとりが性別に関係なく輝ける社会の実現に向けて、自分らしく生きていくことの大切さを感じました。
(西新校区 曲手さよみ)

地域における男女共同参画とは

たとえば地域で災害が起り、避難所を運営することになった場合。限られた時間で様々な判断を行わなければならない中で、女性や子どもなど、多様な住民のニーズを踏まえた決定ができるでしょうか。女性を始め、様々な人が対等に地域の意思決定に参画できることは、誰もが住みやすい地域を作る上でとても重要なことです。

早良区男女共同参画をすすめる会では、「性別などに関わりなく、誰もが対等に参画できる」地域活動のあり方に向けて、各校区男女共同参画推進組織の代表者による意見交換等を行っています。

地域ですすめる男女共同参画

早良区男女共同参画をすすめる会 会長 緒方 豊子

「早良区男女共同参画をすすめる会」は、各校区で男女共同参画の推進を目標に地域活動に取り組んでいます。国が「男女共同参画社会基本法」を、そして県・市も条例を制定して、すべての地域ですすめるよう導いています。広げる難しさを感じることもありますが、「人権」が基本であることを確認しながら、校区を越えて知恵を出し合い、学び合って一步一歩すすめています。

すすめる「宣言」を実行する意義からも、それぞれの地域で研修の場をもち、活動する中で気づきがあれば発信し、各団体と連携しながら自治協議会の一員として校区活動を盛り上げていきたいと考えています。

これからも私たちの活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



早良区男女共同参画をすすめる会 平成29年度の活動紹介

- 奇数月 全体会(情報交換会)
- 7月 委員研修会
「地域ですすめよう！男女共同参画」
講師：武藤桐子さん
(福岡ジェンダー研究所研究員)
- 11月 Dブロック研修会・映画上映会
- 1月 Aブロック研修会
- 2月 早良区男女共同参画講演会
- 3月 委員研修会
「今年を振り返り、来年度につなげよう！」
講師：佐藤倫子さん
(福岡市共創による地域づくりアドバイザー)
- 9月 Bブロック研修会
- 10月 Cブロック研修会

Aブロック研修会

(野芥・四箇田・入部・脇山・内野・曲渕・早良校区)

「地域活動と男女共同参画・私でよろしければ頑張ります！」
講師：中嶋 玲子さん(元・福岡県男女共同参画センターあすばる館長)

講師の中嶋さんは朝倉に住んでおられます。先の朝倉水害を直接体験される中で、地域コミュニティの大切さ、そして地域コミュニティづくりにおいて男女共同参画の視点がいかに重要であるかを熱く語られました。コミュニティづくりにおける中嶋さんの理念を聞き、私たち自身の課題、地域の課題も明らかになりました。行動する時です！
(入部校区 上村義行)



Bブロック研修会

(飯倉・有田・有住・賀茂・田隈・田村校区)

「寸劇で学ぼう！男女共同参画～アミカス寸劇隊をお招きして～」
講師：アミカスサポーター

日常の身近な事柄を題材にした寸劇を通じて、男女共同参画の活動を考えてみようとした研修会でした。寸劇は、女性ばかりのサークルに男性の入部希望者が現れるという内容です。鑑賞後の意見交換や朗読劇ワークでは、性別にかかわらず男女ともに居心地の良い「場」を創るにはどうしたらよいのか、男性も女性も固定観念に縛られているのではなく、様々な意見が出されました。(有住校区 中西久美子)

Cブロック研修会

(大原・小田部・飯倉中央・飯原・原西校区)

「地域で進めよう！男女共同参画」

講師：武藤 桐子さん(NPO法人福岡ジェンダー研究所研究員)

私たちCブロックでは、男女共同参画を地域で進めていくためには何が必要かを考えました。これからの地域を支えていく女性・男性の性差を超えた個人が、暮らしの中に男女共同参画を根付かせていけたらとてもすばらしいことだと思います。武藤先生のお話を聞いて、一人ひとりがそのように考えていただけたら、とても嬉しいことだと思っています。
(小田部校区 前村久美)



Dブロック研修会

(百道浜・百道・西新・高取・室見・原校区)

「『セクマイって知つとんしゃあ～？』～性のモノサシから考える男女共同参画社会～」
講師：藤田 哲章さん(元・福岡市男女共同参画推進センター・アミカス運営係長)

セクマイとは、LGBTを含めた「セクシャル・マイノリティ」の略で、現在およそ13人に1人の割合でいるといわれているそうです。長年市役所に勤務されている藤田哲章さんに分かりやすくお話を頂きました。現在福岡市には複数のLGBT支援団体があり、性の多様性を理解しようとする取組みがあることなどを教えていただきました。正しい知識と関心を持ち、よき理解者になることが大事だと考えさせられました。(原校区 松永真喜子)

映画上映会 「彼らが本気で編むときは、」

DブロックLGBT研修会のプレ企画として、映画『彼らが本気で編むときは、』の上映会を開催しました。あらすじは、優しく家庭的なトランスジェンダーの女性と彼女のすべてを受け入れる男性のカップルのところに、母からの愛情の薄い少女が共同生活を始め、本当の家族になろうとしていく内容でした。偏見を受けながらも時間をかけてお互いを認め合い心をかよわせていく姿に感動を覚えました。ひとりひとり特別な存在であることが大切だと思いました。

各校区の男女共同参画推進組織では、下記の宣言に則り「校区活動に男女共同参画の視点をもたらすこと」を目指して活動しています。

早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ①地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ②学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から、校区行事を盛り上げる。

校 区 活 動 事 例 紹 介

演じて語って＜アミカス寸劇隊参上＞ (四箇田校区)

1月21日(日)自治協・公民館・人尊協の協力を得て、アミカス寸劇隊によるワークショップを開催しました。

寸劇「妻が男女共の役員になる」を観て、また、班ごとに朗読劇「いい人なのに」を演じ、それぞれの劇の内容について班ごとに意見交換をしました。各班では、劇の中で人権を害するような発言や差別的な発言、人を批判する発言があったことについて、多くの意見や指摘が出されました。日頃の何気ない会話の中で、自分も相手を傷つけるようなことを言っているのではないか、気をつけなければと思いました。

参加された方々からも好評をいたたき、充実した研修会となりました。
(下郡春海)



人権のつどい・パネル展 (原西校区)

人尊協・公民館・男女共の共催で「学ぶことは変わること」をテーマに、小・中学校の各教育現場から人権教育についての説明報告と、マザーアース人権啓発研究所主催の山口裕之先生による講話・オカリナレクチャーコンサートがありました。

山口先生の講話では、人権について学ぶことは自分自身を豊かにするという内容で、人権のまちづくりをどのように進めていくか、家庭や地域活動のあり方をみんなで語り合っていくことが大切ということでした。

男女共は会場入り口付近にパネルを展示し、また啓発チラシを配布し、多くの来場者の方に向けて男女共の活動を広報しました。
(岡部敏美)



自主防災会との合同防災講習会 (有田校区)

2005年の西方沖地震、一昨年の熊本震災、昨年の九州北部豪雨と、自然災害はいつどこで起こってもおかしくないと誰もが思いました。その中で、女性の目線から見て災害時に必要なことを、地域のリーダーの方たちに知りたいといいう意向で、自主防災会との合同講習会を行いました。

防災センターの奥園氏からは「災害について知ることで、即座に行動に移すことの大切さ」を、アミカスの石内氏からは「寄ってたかって考え方行動することの必要性」を教わりました。合同でやったことで、内容が非常に広がり深まつたこと、相互に共通理解が出来たことが良かった点です。今後、さらに他の多くの団体と合同で避難訓練ができればと思っております。
(松本早苗)



校 区 防 災 訓 練 (高取校区)

11月12日(日)自治協議会委員を対象に避難所運営訓練を行いました。

新しい公民館には、福岡市では初めて緊急設備としてマンホールに直結した組み立て式のトイレが設置され、皆で協力し合って設置訓練をしました。食糧供給訓練では日頃から家庭等でおにぎりを作ることは誰にでもでき、万が一の備えにもなることだと説明しました。

その他、避難所開設などの訓練も行いましたが、避難所作りや運営に男女共同参画の視点に立った意見を取り入れ、実践するには、日頃から責任をもって地域活動に参加し、連携していくことが必要だと思いました。
(一坊寺優子)

